

法政就業力通信

～今月のさんぽ道～

法政大学
「就業力を育てる3ステップシステム」
プロジェクト
<http://3step.hosei.ac.jp/>

文部科学省『大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)』採択プロジェクト

迎春、本年も宜しくお願ひ致します。



就業力GP
プロジェクト
メンバー

後列左より
白井章司
菊池克仁
細田泰弘

前列左より
鈴木美伸
藤村博之
有田五郎

2012年のプロジェクト・メンバーの抱負

教授 藤村博之 (ふじむら ひろゆき) プロジェクトリーダー【前列中央】

来年度予算に就業力育成支援事業が計上されないという連絡が、昨年末に文部科学省から舞い込みました。5年計画の2年目がようやく終わろうとしており、具体的な成果が出ていないのに廃止とは何事だ、と思いましたが、民主党の仕分けに抵抗しきれなかったようです。2010年11月11日に仕分け実地検分チームが本学に来られ、本事業については私が対応しました。およそ見識などない人たちで、質問はことごとく的外れでした。国の予算が厳しいことは承知していますが、「こんな人たちに仕分けなんかされたくない」というのが率直な感想でした。

就業力育成支援事業は予算化されませんでした。大学教育を改革して産業界にとって有用な人材を育成するための事業が新たに立ち上がります。私たちは、この新事業に挑戦し、就業力育成の火を灯し続けます。みなさんのご協力を引き続きお願い申し上げます。

特任教員 有田 五郎 (ありた ごろう)【前列右】

「夢が叶いました」年明けに元気なメールが入ってきました。英文レジュメの添削や面接指導などをしてきた4年生が外国航空会社客室乗務員の内定を得た嬉しい報告です。情報を集めて状況判断を行い、応募書類を作成して面接へと臨む。就業力の各要素を地道に積み上げて結果につなげてくれました。大学生活で学んだこと・身に付けたことを自信にして、新たに飛躍していく姿に期待しています。

「喰い付いていく」「諦めない」、学生はこの姿勢を大切に欲しい。大学・企業・社会の現場の実情を知らせて、それにどう対応するかを考えさせる、一人一人が独自の答えを堂々と発表出来るようにする、他者の考えから学ばせる、それが就業力指導の道筋と考えます。一人でも多くの学生が自分を見つめ新たな道を切り拓いていく、それを一緒に歩む一年にしたいと思います。

2012年のプロジェクト・メンバーの抱負

特任教員 鈴木 美伸（すずき よしのぶ）【前列左】

昨年は授業を通じて法政らしさを学ぶことができました。私は新しく着任した大学では、まずその大学の創設時の経緯を調べます。それは自大学のアイデンティティを知り、自分の授業方針とズレがないかを確認するためです。同時にそれは、自分の仕事に誇りとやり甲斐をつくるための作業でもあります。かつて東大は法律の研究者や官僚の養成から始まりましたが、法政は法律の実務家の育成を目指しました。つまり、法政大学は大学自体が社会で生きていくためのキャリア教育から始まっているといえるでしょう。いつも最初の講義はこの話から入るのですが、今年も初心を忘れずに精進したいと思います。本年、具体的に取り組みたいことは、AV系の新教材の開発、学内・他大学・企業とのコラボレーションです。このニューズレター読書の皆様と是非、お話ししたいと思います。

特任教員 白井 章詞（しらい しょうじ）【後列左】

後期の授業(キャリアデザイン演習)においても、学生たちにはキャリアという視点から質的調査に取り組んでもらいました。正月休みにそれを読んでいると、彼らが調査対象者から学んだこと、感じたことを私に伝えたいという意欲が伝わってきました。この意欲が言葉や文章となり、自分の外側へ勢いよく飛び出していく原動力なのかも知れません。そう考えると、教員1年目の私は、これまで彼らが書いた文章は受け取っていたものの、伝えたいという思いには気づいていなかったのかも…と思いました。誤字脱字や話し言葉で文章を綴っているのを見ると、まだまだ不十分ですが、意欲や思いも言葉の大切な一部と捉え、新年度はじっくり学生と向き合う授業を心掛けたいと思います。

事務局スタッフ 菊池 克仁（きくち かつひと）【後列中央】

今年は辰年です。辰(竜)は想像上の生き物ですが、世界中のあらゆる地域で畏怖の対象として神格化され崇められています。我々が存在を実感できないものにあれこれ思いを巡らし、必要以上に恐れや不安を感じるからです。

学生の皆さんにとっては就職や社会人となることもこれと同じで、必要以上に不安や負担を感じている方が多いのではないのでしょうか？大学の授業や講座では様々な知識や就業時に必要となる力が身につくことはもとより、先達の考えや経験に触れ自分自身を見直して己を知るきっかけとなる多くの要素も提供されています。

学生の皆さんが自分自身の中にある竜を乗り越えて、自信を持って社会に出て行けるよう、今年も就業力育成の取組みをサポートしていきたいと思います。

事務局スタッフ 細田 泰博（ほそだ やすひろ）【後列右】

私は学務部の管理職で、この事業のスタッフをはじめ、多くの教学に関する会議の事務局を担当しています。例えば教養教育、英語教育、ICT教育、自校教育科目などなど…。どの会議でもテーマになるのは「学士力の充実」つまり学生にどんな力を付けさせるかで、その目標値として「就業力」が必ずあげられます。そこで会議中「こちらの会議ではこんなことを検討・企画・実施していますよ」と言うと、皆さん大きな興味を示し、また新しいアイデアが出てきます。

教員はポテンシャルが高い生き物で、そのモチベーションを上げることで成果を導くのが事務局の役割、と私は考えています。情報の流通が教員集団を活性化するのを目の当たりにして、ますますこの意を強くし、また自身の役割を改めて自覚しました。

◆ 教員向けフォーラムを開催いたします。(学外からのご参加もお待ちしております)

授業と就業力育成をテーマとした学内教員向けフォーラムを開催いたします。特任教員3名による授業手法の紹介のほか、授業内で利用できるオリジナル教材ビデオの視聴、パネルディスカッションを行います。他校の教員の方のご参加も歓迎いたします！

日時：2012年2月23日 13:30～16:30 会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 6F 薩埵ホール 入場自由・事前申込み不要

◆ 就業力育成シンポジウム「大学の学びは社会で生きる力になる」を実施します。

新入生の保護者の方へ向けたシンポジウムを開催いたします。白井講師による模擬授業や企業からゲストをお迎えしてパネルディスカッションなどを行います。

日時：2012年3月25日 13:30～16:30 会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎 6F 薩埵ホール

◆ 編集後記：本年は文科省からの事業仕分けの厳しい通達という波乱の幕開けでしたが、我々教職員の使命感やモチベーションに揺るぎはありません。日々学生と接して就業力の必要性和授業成果を感じているからです。今回の試練をバネにして、皆様の期待に応えていきたいと思ひます。本年も宜しくお願ひ致します。 << 特任教員：鈴木 >>

「就業力を育てる3ステップシステム」プロジェクト (事務局：学務部教育支援課)

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

TEL: 03-3264-9520 WEB: <http://3step.hosei.ac.jp/>

就業力を育てる**3ステップシステム**
文部科学省「大学生の就業力育成支援事業(就業力GP)」採択プロジェクト